

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	ガス気球運行事業（観光企画課）				事業番号	008-096	
担当部署名	文化観光局	局	観光部	部	文化観光企画課		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(1)世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の継承と魅力の創出
			有	取組の方向性	②大仙公園を活かした魅力あるおもてなし環境の整備		
		寄与するKPI	有・無	指標名	大仙公園エリアへの来訪者数		
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025		有	現状値	29.4万人(2019年度)	目標値	60.0万人(2025年度)
		施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9
			有	取組	観光消費の促進をめざす戦略的な観光施策の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	堺観光戦略、堺・世界遺産魅力創造ロードマップ		
3	事業開始年度	令和 3 年度	終了（予定）年度	令和 8 年度
4	実施根拠	—		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	国内外の観光客、堺市民				対象数	単位
						—	—
7	事業の目的	上空から百舌鳥古墳群や堺の街並みを眺望できるガス気球を運行することで、百舌鳥・古市古墳群の歴史的な価値や雄大さなどの魅力を伝達し、世界遺産の保全と未来への継承につなげる。					
8	事業内容	・ガス気球運行による百舌鳥古墳群の「価値や魅力の理解への効果」「世界遺産への景観・環境面での影響」などを検証するための調査・分析を実施 ・ガス気球運行開始1か月目、3か月経過後の計2回アンケート調査を実施し、各500サンプル以上取得 ・1か月目のアンケート結果を取りまとめたガス気球事業の遺産影響評価書（案）を作成し、令和8年3月に学術委員会で説明 ※こども気球体験事業は、令和8年度より観光推進課所管の「ガス気球運行事業（観光推進課）」にて実施					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	ガス気球アンケート調査事業者					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標 終了（予定）年度
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度
	百舌鳥古墳群への関心度	%	目標値	—	75	94	94
			実績値	—	94		
			達成率	—	125%		
当該指標を選定した理由		古墳群への関心が高まることで、価値理解が深まり、古墳群の適切な保全・管理や次代への継承につながると考えられるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		ガス気球利用者アンケートにおいて、「古墳群の関心が深まった」と答えた割合					

12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	ガス気球搭乗者数	人	目標値	—	25,890	60,000	
			実績値	—	29,636		
			達成率	—	114%		
当該指標を選定した理由		ガス気球の搭乗者が増加することで、古墳群への関心を高めることに寄与すると考えられるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		ガス気球運行事業者による予測					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名		ガス気球運行事業（観光企画課）				事業番号		008-096	
-------	--	-----------------	--	--	--	------	--	---------	--

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		決算		決算		当初予算	決算	当初予算	
13	事業費（a）	0		0		40,532	673	337	
	財 源	0		0		0	0	0	
	内 市債	0		0		0	0	0	
	内 その他（基金・事業者納付金）	0		0		39,181	0	0	
	内 受益者負担金(使用料、手数料等)	0		0		0	0	0	
	内 一般財源	0		0		1,351	673	337	
	14	人件費（b）	16,200		16,200		16,800	16,800	17,400
15	年間経費（c）=(a)+(b)	16,200		16,200		57,332	17,473	17,737	

事業費の内訳

（単位：千円）

16	事業費内訳	項 目	年度		事業費	うち一般財源	項 目	年度		事業費	うち一般財源
		ガス気球アンケート調査業務	R7	決算	673	673		R7	決算		
			R8	予算	337	337		R8	予算		
		こども気球体験事業負担金	R7	決算	0	0		R7	決算		
			R8	予算	0	0		R8	予算		
		世界遺産保全活用推進基金積立金	R7	決算	0	0		R7	決算		
			R8	予算	0	0		R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
			R8	予算				R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
R8	予算				R8	予算					

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
	① ガス気球利用者数	人	—	29,636
	② 上記①にかかる年間経費	千円	0	673
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	—	23
算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	世界遺産に影響を与える可能性のある事業については、その内容を評価し当該遺産への影響をユネスコに示す必要があることから、ガス気球の運行を継続するためには、遺産影響評価の実施及び評価書の作成が必要である。また、遺産影響評価書の作成にあたっては、本事業が百舌鳥古墳群の価値理解の促進にどの程度寄与しているかを把握する必要がある。その根拠資料としてアンケート調査の実施が不可欠となる。こうしたことから、令和7年10月のガス気球運行開始に伴い、令和7年11月及び令和8年1月にガス気球アンケート調査を実施した。その結果、気球に搭乗したことで百舌鳥古墳群への関心が深まったと回答した人の割合は、2回の平均で94%となり、当初設定した目標値を上回った。このことから、気球への搭乗が百舌鳥古墳群の価値理解の推進に寄与しているものと考えられる。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	令和7年度のガス気球搭乗者数は29,636人であり、上空から百舌鳥古墳群や堺の街並みを眺望できるガス気球の運行は、古墳群の歴史的価値や雄大ななどの魅力の発信に寄与することに加え、世界遺産の保全及び未来への継承につながったと考えられる。 また、令和7年度の大仙公園エリアの来訪者数は、前年比127%の28.4万人となり、ガス気球の運行が同エリアへの来訪者数の増加を促し、堺市基本計画2025のKPI達成にも寄与したものと考えられる。
----	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性 ■ 高い □ 低い 百舌鳥・古市古墳群周辺で実施する事業等については、世界遺産委員会から遺産影響評価（※）の実施が求められている。このため、ガス気球の運行継続には、令和8年度までのアンケート調査により、世界遺産への影響を適切に把握する必要がある。また、本調査は事業効果や課題の検証、今後の運用方針の検討に資する重要な取組である。 有効性 ■ 高い □ 低い （※）遺産影響評価：事業等が世界遺産の価値に与える影響を事前に把握し、必要に応じて回避・低減策を検討する評価分析作業。
----	--